

議案質疑 一般質問

今期定例会では、6月12日から15日までの4日間にわたり質疑・質問を行いましたので、その主な内容をご紹介します。各議員の発言時間は、一人一律60分以内で、問答の項目は、質疑・質問の中から議員が選んだものを掲載しています。

会派代表質問

- 3ページ……長谷川 正（市民の声を大切にする会）
- 4ページ……堀口 順也（公明党議員団）、大野 寛（津和会）
- 5ページ……藤本 智子（日本共産党津市議団）、八太 正年（自由民主党市議団）
- 6ページ……西山 みえ（県都クラブ）、岡村 武（至誠会）
- 7ページ……坂井田 茂（一津会）、福田 慶一（市民クラブ）
- 8ページ……渡辺 晃一（津市民の会）

個人質問

- 8ページ……小林 貴虎
- 9ページ……中村 勝春、岩脇 圭一
- 10ページ……中川 民英、豊田 光治
- 11ページ……川口 和雄、杉谷 育生
- 12ページ……加藤美江子、佐藤 有毅
- 13ページ……横山 敦子、長谷川幸子



は せ がわ ただし
長谷川 正

しみん こえ たいせつ かい
市民の声を大切にする会

市内に100カ所ぐら いの散歩コースの整備を

問 市民が日常的に行っている手軽な健康法は散歩である。一部の人しか利用しない約130億円もかけた超巨大物件の建設より、各地域のポイントに散歩コースとマップを作り、気軽に散歩がしたくなる環境づくりを進めるべきである。多くの人が集まれば出会いの場や地域住民の身近な接点にもなり、健康増進にもつながる。130億円もかからないと考えるがどうか。

答 ウォーキングは、年齢を問わず誰でもすぐできる最も身近な運動であり、平成19年度に10地域に14のウォーキングコースを設定し、イラスト化したチラシを作成した。チラシは各保健センターで配布しており、多くの方に利用されている。

それとは別に、各地域でもコースが設定されているが、身近なコースがなかったり、主に観光向けであるため、距離数などをアレンジしたりして魅力的なコースを設定し、広く紹介していきたいと考えている。

健康には、体の健康、心の健康、そして人とのつながりが重要だと考えることから、身近なコースが増えれば、出会いの場が増えることになり、社会的なつながりもでき、健康増進につながると考えている。

●その他の質疑・質問●

- 今回の懲戒免職処分は、厳罰すぎたのではないか
- 放課後児童クラブにおいて、非常災害に対するマニュアルを作成しているのか
- 産前産後休暇中の職員、メンタルヘルス不調等で休職している職員の補充は滞りなく行っているのか
- 職員配置について、男女の比率は改善されたか



▲たくさんの市民の方々が大好きな散歩コースの設置を

会派代表質問